

## 1 ページ 定理証明 1

$\triangle ABC$  で  $AB=AC$  とする。

また、 $\angle A$  の二等分線を引き、辺  $BC$  との交点を  $D$  とする。

$\triangle ABD$  と  $\triangle ACD$  において、

仮定より、  $AB=AC$  .....①

また、 $AD$  は  $\angle A$  の二等分線なので

$\angle BAD = \angle CAD$  .....②

また、 $AD$  は共通 .....③

①、②、③より 2 組の辺とその間の角がそれぞれ等しいので  $\triangle ABD \equiv \triangle ACD$

したがって  $\angle B = \angle C$

## 2 ページ 問 1

$\triangle ABD$  と  $\triangle ACE$  において、

仮定より

$AB=AC$  .....①

$\angle BAD = \angle CAE$  .....②

また、 $\triangle ABC$  は二等辺三角形なので

底角は等しいから

$\angle ABD = \angle ACE$  .....③

① ② ③より 1 組の辺とその両端の角が

それぞれ等しいので

$\triangle ABD \equiv \triangle ACE$

したがって

$AD = AE$

3 ページ 定理証明 2

$\triangle ABD \equiv \triangle ACD$  より

$$BD = CD \dots\dots\dots \textcircled{1}$$

また  $\angle ADB = \angle ADC$  であり

$\angle ADB + \angle ADC = 180^\circ$  なので

$$\angle ADB = 90^\circ$$

したがって  $AD \perp BC$   $\textcircled{2}$

$\textcircled{1}$   $\textcircled{2}$  より  $BD = CD, AD \perp BC$

4 ページ 問 2

$\triangle ABC$  と  $\triangle ADC$  について

仮定より

$$AB = AD \dots\dots\dots \textcircled{1}$$

$$BC = DC \dots\dots\dots \textcircled{2}$$

また、 $AC$  は共通  $\dots\dots\dots \textcircled{3}$

$\textcircled{1}, \textcircled{2}, \textcircled{3}$  より 3 組の辺がそれぞれ  
等しいので  $\triangle ABC \equiv \triangle ADC$

ゆえに  $\angle BAO = \angle DAO$

$\triangle ABD$  は二等辺三角形であり、  
二等辺三角形の頂角の二等分線は、  
底辺を垂直に 2 等分するので

$AC$  は線分  $BD$  の垂直二等分線である。

5 ページ 定理証明 3

$\angle A$  との二等分線を引き、  
辺  $BC$  との交点を  $D$  とする。

$\triangle ABD$  と  $\triangle ACD$  において、

$$\text{仮定から } \angle ABD = \angle ACD \dots\dots\dots \textcircled{1}$$

$AD$  は  $\angle A$  の二等分線であるから

$$\angle BAD = \angle CAD \dots\dots\dots \textcircled{2}$$

三角形の内角の和は  $180^\circ$  であるので

$$\textcircled{1}, \textcircled{2} \text{ から } \angle ADB = \angle ADC \dots\dots\dots \textcircled{3}$$

また、 $AD$  は共通  $\dots\dots\dots \textcircled{4}$

$\textcircled{2}, \textcircled{3}, \textcircled{4}$  より、1 組の辺とその両端の角が  
それぞれ等しいので

$$\triangle ABD \equiv \triangle ACD$$

したがって  $AB = AC$  なので、

$\triangle ABC$  は二等辺三角形である。

6 ページ 問3

△DBC と△ECB について

仮定より DB=EC .....①

また BC は共通 .....②

△ABC は AB=AC の

二等辺三角形であるので

∠DBC = ∠ECB ..... ③

①,②,③より 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle DBC \equiv \triangle ECB$$

したがって ∠PBC = ∠PCB

よって、2つの角が等しいので△PBCは二等辺三角形である。

7 ページ 問4 解答

(1) 逆:  $a + b = 0$  ならば  $a = 0, b = 0$  正しくない

(2) 逆: 同位角  $\angle x$  と  $\angle y$  が等しければ、2直線  $\ell, m$  は平行。正しい。

(3) 逆: 二等辺三角形は正三角形である 正しくない

(4) 逆: 2つの角が等しい三角形は、二等辺三角形である。正しい

(5) 逆: △ABC で、 $\angle B + \angle C = 90^\circ$  ならば  $\angle A = 90^\circ$  である。正しい

(6) 逆: 面積の等しい2つの三角形は合同である。正しくない

(7) 逆: 2つの対角線の長さが等しい四角形は、長方形である。正しくない

8 ページ 問5

(1)

△APR と△QPB について、

仮定より AP=QP .....①

PR=PB .....②

また、 $\angle APR = \angle APQ + \angle QPR$

$$\angle QPB = \angle BPR + \angle QPR$$

正三角形の角なので

$$\angle APQ = \angle BPR = 60^\circ$$

(2)  $60^\circ$

したがって

$$\angle APR = \angle QPB = 60^\circ + \angle QRP \dots\dots\dots ③$$

①,②,③より 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle APR \equiv \triangle QPB$$

したがって

$$AR = QB$$

9 ページ 問6

△ACE と△ADE について

仮定より

$$AC = AD \dots\dots\dots ①$$

$$\angle ACE = \angle ADE = 90^\circ \dots\dots\dots ②$$

$$\text{また } AE \text{ は共通} \dots\dots\dots ③$$

① ② ③より、直角三角形の\*

斜辺と他の1辺がそれぞれ等しいので

$$\triangle ACE \equiv \triangle ADE$$

したがって

$$CE = DE$$

10 ページ 問7

△ABD と△CAE について

仮定より

$$AB = CA \dots\dots\dots ①$$

$$\angle ADB = \angle CEA = 90^\circ \dots\dots\dots ②$$

また△ACE について

$$\angle CEA = 90^\circ \text{ より}$$

$$\angle ECA = 90^\circ - \angle CAE \dots\dots\dots ③$$

また直線  $l$  について

$$\angle CAB = 90^\circ \text{ より}$$

$$\angle BAD = 90^\circ - \angle CAE \dots\dots\dots ④$$

③, ④より

$$\angle ECA = \angle BAD \dots\dots\dots ⑤$$

①, ②, ⑤より直角三角形の斜辺と

1つの鋭角がそれぞれ等しいので

$$\triangle ABD \equiv \triangle CAE$$

したがって  $DA = CE$ ,  $AE = BD$

よって

$$\begin{aligned} DE &= \underline{DA} + \underline{AE} \\ &= \underline{CE} + \underline{BD} \end{aligned}$$